イマをトキメク くれびと KURE-BITO

今まさに輝きを増している人にスポットをあて、
さまざまな場面で活躍する呉にゆかりのある人、
その名も「くれびと」を紹介します！

サッカー日本代表 テクニカルスタッフ
（公益財団法人 日本サッカー協会）

中下（なかした） 征樹（まさき） さん



⚽【プロフィール】
40歳。音戸地区出身。呉三津田高等学校・筑波大学・同大学大学院卒業。高校時代に元日本代表 木村和司さんなどを教え子に持つ指導者 松田輝幸さんと出会い、指導者やテクニカルスタッフの道へ。大学院卒業後は、2010年～ジュビロ磐田（アシスタントコーチ）、2014年～サンフレッチェ広島（コーチ/ジュニアユースコーチ）に所属。2019年には東京オリンピックサッカー日本代表のテクニカルスタッフ、2021年からサッカー日本代表テクニカルスタッフに就任。2022カタールワールドカップでもチームに帯同しベスト16、今年６月から行われた2026北中米ワールドカップではベスト32に貢献。

テクニカルスタッフの道に進んだ経緯を教えてください！

高校時代にサッカー部で指導してくれた恩師の松田先生がきっかけです。グラウンドで「サッカーの奥深さ」を教えてくれた恩師のようになりたいと、当初は指導者を志していました。筑波大学や同大学院に進学したのも、松田先生が筑波大学の前進である東京教育大学の出身だったからです。筑波大学が日本サッカー協会のサポートを行っていたこともあり、私も在学中にアンダー世代のサッカー日本代表に帯同するなど経験させてもらいました。大学院卒業後は、複数のJリーグのチームで、指導者や「分析班」とも言われるテクニカルスタッフとして働いてきました。現在は日本代表のテクニカルスタッフとして、サンフレッチェ広島時代にも一緒に仕事をした森保監督や、国内外で広く活躍する日本代表の選手たちをサポートしています。

テクニカルスタッフの仕事内容は？

試合映像や数値化したデータを分析し、相手チームの選手の特徴や強み、弱みを明らかにすることです。その分析結果をトレーニングに落とし込んだり、戦術などの判断材料として生かしたりすることで、チームの勝率を高めるための工夫をしています。また、指導者がどうチームを導いていきたいか、どうしたらその思いを形にできるかなど、日々想像力を働かせながら取り組んでいますね。



▲ データ分析をする中下さん

インタビュー
動画はこちら

呉の好きなところは何ですか？

呉の海が好きですね。音戸町の出身ということもあり、久しぶりに地元に帰ってきて穏やかな呉の海を眺めると、やっぱりほっとします。ここが地元で良かったなと思いますね。

2026北中米ワールドカップで印象に残っていることは？

やはり決勝トーナメントで勝ち上がれなかったこと。ベスト16の壁を、今回も塗り替えることができなかったことです。本当に悔しい思いでいっぱいですが、同時に、世界の強豪国と対等な目線で戦えたチームを誇りに思っています。また、期待に応えることはできませんでしたが、応援してくれたサポーターの皆さんにも本当に感謝しています。熱い声援をありがとうございました。

呉のみなさんにメッセージをどうぞ。

スポーツの世界では、選手以外にもさまざまな仕事があります。そのような中で、私のことを地元である呉の皆さんに知ってもらう機会をもらい、とてもうれしく思っています。私は、呉でサッカーというスポーツに出合わせてもらいましたし、呉で過ごした時間はとても貴重なものでした。当時は、まさか自分がワールドカップで日本代表に帯同し世界と戦うようになるとは夢にも思いませんでしたが、大好きなサッカーに全力で取り組み、諦めなかった結果なのかもしれないと感じています。引き続き、日本代表のために自分が出来ることを積み上げ、日本を強くするサポートを続けていきますので、これからも応援よろしくお願いします。